

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|---|--|
| (宛 先) 京 都 市 長 | 平成24年7月26日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区木津屋橋通烏丸西入木津屋橋ビル | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 京都ステーションセンター株式会社 代表取締役社長 福 山 陸 夫 電話 075-365-7516 |

| | |
|--|---|
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | |
| 環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称 | ISO14001 環境マネジメントマニュアル 京都ステーションセンター株式会社 |
| 適 用 範 囲 | 京都ステーションセンター株式会社木津屋橋ビル 京都駅北口広場地下街ボルタ |
| 導 入 年 月 日 | 平成20年3月13日 |
| 認 証 番 号 | EMS 531203 |
| 基 本 方 針 | <p>社会・自然・世界との共生を図り、企業の持続性を目指し、ボルタに集まる人々に「楽しさ」と「潤い」、「美しさ」と「清潔さ」を提供し、快適なコミュニティ施設としてのまちづくりの一環を担う。</p> <p>環境に関わる法令・条例等の規制及びその他の要求事項を遵守し、環境汚染の予防と重要な環境影響を軽減するため、次の事項に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 省資源・省エネルギーの推進 2 廃棄物処理の適正化 3 安全で安心できる環境の整備 |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | <ol style="list-style-type: none"> 1 電力消費の抑制（CO2の削減）・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・電力消費量を前年以下とする。 2 廃棄物処理の適正化・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・分別を徹底するとともに、食品残渣を対前年比2%削減する。 ・事務用紙の使用量を前年以下とする。 ・使用済み用紙の再資源化 3 安全で安心できる環境の整備・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・災害の未然予防及び被害軽減のための態勢強化を図り、災害により生じる環境破壊の防止を図る。 |
| 目標を達成するための取組の内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 電力消費の抑制・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・空調等の設備・機械の効率的な運転。 ・省エネ灯具の積極的導入。 ・エレベーターの使用自粛 ・きめ細かいスイッチ操作による不要電灯の消灯等電力消費の節減 2 廃棄物処理の適正化・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・発生の抑制、分別の徹底 ・事務用紙の削減（メールの活用、両面コピーの推進） ・新聞紙、使用済み用紙の再資源化 3 安全で安心できる環境の整備・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・設備・機械の適正な保守管理による安全の確保 ・自主防火・防災体制の充実 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 電力消費の抑制・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・電力消費量を昨年以下に削減。 ・省エネ法に基づく管理標準を作成、実施中。 ・サイン、電灯の一部についてLED化を実施中。 2 廃棄物の適正処理 <ul style="list-style-type: none"> ・食品残渣を対前年比の2%削減。 ・ゴミの発生抑制、分別の徹底を実施中。 ・事務用紙の使用量を前年以下に削減。 ・新聞紙、使用済み用紙等の再資源化を実施中。 3 安全で安心できる環境の整備・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・設備・機械の適正な保守管理を実施中。 ・各ショップによる自主点検を実施中。 |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 当初どおりに取り組むことができていると考えている。 |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規及びその他の要求事項の改正等については、毎年度1回各担当部署で調査を実施。 2 内部監査で関連法規及びその他の要求事項の遵守状況を監査。 3 これまで違反及び行政当局からの指摘はない。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | <p>評価、見直しの必要性については、毎年度1回マネジメントレビューで確認。</p> <p>平成22年度に一定の成果があり、平成23年度も概ね同一システムにより運用。</p> |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。